

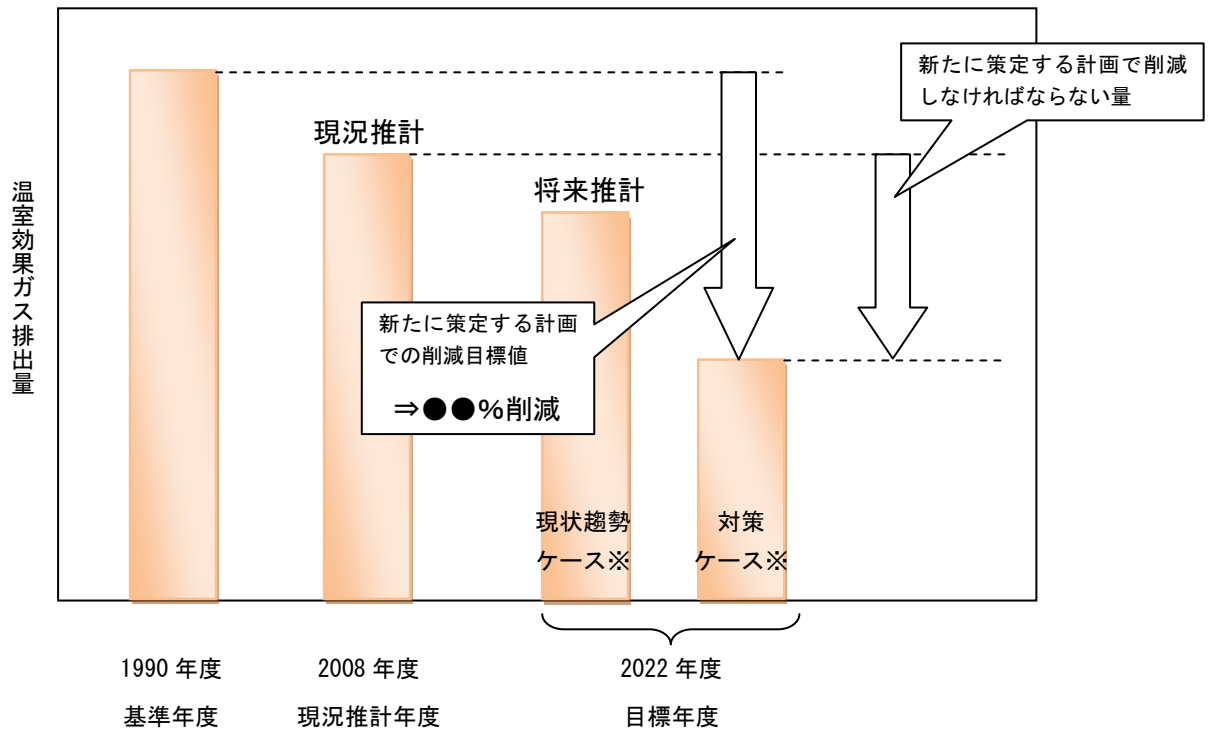
## 将来推計について

### 1. 将来推計の基本的な考え方

2008（平成 20）年度を現況年度として、今後、追加的な地球温暖化対策を実施しないまま推移した場合（現状趨勢ケース）の 2022（平成 34）年度における温室効果ガス排出量を推計します。

将来推計は、新たに策定する計画において、2022（平成 34）年度における温室効果ガス排出量の削減目標値を検討する上で、参考となるものです。

#### <将来推計と目標算定方法のイメージ>



#### ※現状趨勢ケース

今後、追加的な地球温暖化対策を実施しないまま推移した場合の 2022（平成 34）年度における温室効果ガス排出量

#### ※対策ケース

今後、追加的な地球温暖化対策を実施した場合の 2022（平成 34）年度における温室効果ガス排出量（計画における温室効果ガス排出量の目標値）

## 2. 温室効果ガス排出量の増減要因

温室効果ガスの排出量は、景気の動向、排出係数、省エネ・省 CO<sub>2</sub> 機器の普及率や世帯数など、様々な要因によって増加・減少します。

$$\text{将来推計値} = \text{現況推計値} \times \text{活動量の増減率} \times \text{温室効果ガス排出量原単位の増減率}$$

部門	要素		説明
共通	電気、都市ガスなどの排出係数		排出係数の増加によって、温室効果ガス排出量は増加します。
産業部門	活動量		活動量の増加によって、温室効果ガス排出量は増加します。以下の項目から影響を受けます。
	製造品出荷額		製造品出荷額の増加によって、活動量は増加します。
	温室効果ガス排出量原単位		温室効果ガス排出量原単位の増加によって、温室効果ガス排出量は増加します。温室効果ガス排出量原単位は、以下の項目から影響を受けます。
	需要	GDP の伸び率	GDP の伸び率の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は増加します。
	効率	省エネ・省 CO <sub>2</sub> 型機械の普及率	省エネ・省 CO <sub>2</sub> 型機械の普及率の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は減少します。
	炭素集約度	再生可能エネルギー普及率	再生可能エネルギー普及率の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は減少します。
民生家庭部門	活動量		活動量の増加によって、温室効果ガス排出量は増加します。
	世帯数		世帯数の増加によって、活動量は増加します。
	温室効果ガス排出量原単位		温室効果ガス排出量原単位の増加によって、温室効果ガス排出量は増加します。温室効果ガス排出量原単位は、以下の項目から影響を受けます。
	需要	GDP の伸び率	GDP の伸び率の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は増加します。
		世帯人員	世帯人員の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は増加します。
		集合住宅の割合	集合住宅の割合の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は減少します。
		家屋の断熱性能	家屋の断熱性能の向上によって、温室効果ガス排出量原単位は減少します。
	効率	省エネ・省 CO <sub>2</sub> 型家電の普及率	省エネ・省 CO <sub>2</sub> 型家電の普及率の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は減少します。
炭素集約度	再生可能エネルギー普及率	再生可能エネルギー普及率の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は減少します。	

部門	要素		説明
民生業務部門	活動量		活動量の増加によって、温室効果ガス排出量は増加します。
	床面積		床面積の増加によって、活動量は増加します。
	温室効果ガス排出量原単位		温室効果ガス排出量原単位の増加によって、温室効果ガス排出量は増加します。温室効果ガス排出量原単位は、以下の項目から影響を受けます。
	需要	GDPの伸び率	GDPの伸び率の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は増加します。
		建築物の断熱性能	建築物の断熱性能の向上によって、温室効果ガス排出量原単位は減少します。
	効率	省エネ・省CO <sub>2</sub> 型機器の普及率	省エネ・省CO <sub>2</sub> 型機器の普及率の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は減少します。
炭素集約度	再生可能エネルギー普及率	再生可能エネルギー普及率の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は減少します。	
運輸部門	活動量		活動量の増加によって、温室効果ガス排出量は増加します。
	自動車台数		自動車台数の増加によって、活動量は増加します。
	温室効果ガス排出量原単位		温室効果ガス排出量原単位の増加によって、温室効果ガス排出量は増加します。温室効果ガス排出量原単位は、以下の項目から影響を受けます。
	需要	公共交通の利用者数	公共交通の利用者数の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は減少します。
効率	次世代自動車の普及率	次世代自動車の普及率の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は減少します。	
廃棄物部門	活動量		活動量の増加によって、温室効果ガス排出量は増加します。
	廃棄物処理量		廃棄物処理量の増加によって、活動量は増加します。
	温室効果ガス排出量原単位		温室効果ガス排出量原単位の増加によって、温室効果ガス排出量は増加します。温室効果ガス排出量原単位は、以下の項目から影響を受けます。
炭素集約度	プラスチック類の組成率	プラスチック類の組成率の増加によって、温室効果ガス排出量原単位は増加します。	